

使用した辞書類: Rikaichan (Mozilla Firefoxのアドオン, 日本語・英語), Amebis.si (スロベニア語・英語のオンライン辞書), Google検索エンジン, コトバンク(日本語で定義を調べるウェブサイト)

行番号	読む素材		協力者の発言内容		データ収集者の発言内容	備考
	ページ	文章	発言	日本語訳		
1		少女マンガの「戦う少女」にみるジェンダー規範—『リボンの騎士』から『美少女戦士セーラームーン』まで—	Umm, 少女マンガの戦う少女にみるジェンダー。えー、これ[規範のこと]をいつも忘れちゃダメです[日本語で発話する]。Umm, [Rikaichanで「規範」を検索する]規範[日本語で発話する]?	うーん、「少女マンガの戦う少女にみるジェンダー。えー、これ[規範のこと]をいつも忘れちゃダメです」。うーん, [Rikaichanで「規範」を検索する]「規範」?		
2					うん。	
3			リボンの騎士から[日本語で発話する]。umm, 美少女戦士セーラームーンまで[日本語で発話する]。	「リボンの騎士から」。うーん, 「美少女戦士セーラームーンまで」。		
4					うん。今規範っていう言葉が分からなかったの	
5			はい、で、そのときは[日本語で発話する]。	「はい、で、そのときは」。		
6					うん。	
7			あ、う、マウスでその言葉を[日本語で発話する]。	「あ、う、マウスでその言葉を」。		
8					うん。	
9			と押すと[日本語で発話する]。	「と押すと」[マウスのカーソルを合わせる、ということ]。		
10					ああ。	
11			下に[日本語で発話する]。	「下に」。		
12					ちょっと待って。えっと、スロベニア語だよな。	
13			あ、スロベニア語[日本語で発話する][笑う]。	「あ、スロベニア語」[笑う]。		
14					[笑う。]ごめんない、そうでしたわ。	
15			[笑う。]	[笑う。]		
16					ごめん、ごめん。	
17			Se pravi, ko.	つまり。		
18					はい。	
19			Ne vem, katera beseda ja.	言葉が分からないとき。		
20					うん。	
21			Ali pa ne znam prebrati besede.	あるいは言葉が読めないとき。		
22					うん。	
23			Grem z miško čez tisto besedo.	マウスでその単語にカーソルを合わせて。		
24					うん。	
25			In se pod besedo pojav.	単語の下に[ポップアップ画面で]表示されるのは。		
26					これは[辞書のアドオンの]Rikaichanですね。	
27			はい[日本語で発話する]。Umm, beseda in pa mo žni angleški prevodi, pomeni.	「はい」。うーん, 単語[の読み方と英語訳、英語の意味]です。		
28					分かりました。つまり、ひらがなでの読み方と英語訳の意味ですね。	
29			Ja, ja. Zelo velikokrat se zgodi, da je v bistvu že branje dovolj, da jaz, aha, ja, ok, to je tisto, ne [単語の意味を理解するには]。	はい。はい、実は、ああ、はい、分かりました。これは、あれですね。[単語の意味を理解するには]、読み方だけで十分だということです。		
30					うん。	
31			Če pa ne poznam besede, potem pa ponevadi poskušam iz, ja, iz danih, umm, prevodov razumeti, za katero besedo gre.	そして、単語が分からない場合は、普段は与えられた、うーん、情報から、から、からの単語なのか理解しようします。		
32					うん。	
33			Če mi pa ni jasno, pa naprej raziščem.	そして、はっきりしない場合は、もっと詳しく調べます。		
34					うん。まずは何を。	
35			Aa.	ああ。		
36					調べますか。	
37			Z Googlom[笑う]。	Googleで[笑う]。		
38					うん。	
39		1. はじめに筆者は、修士研究「少女雑誌にみる『理想的少女』イメージの変遷」(2009年の月提出)において、明治・大正時代から戦後にかけて発行された少女向け雑誌を分析の対象とし、「少女」のイメージが形成されたプロセスを、我が国全体の社会的文化的推移と比較、考察を行った。	Pač kaj mi da ven[調べます]。Ponavadi potem grem na kakšen ta, kaj je že, Weblio in podobno. Na japonskih straneh ponavadi poskušam poiškati. Umm, 1. はじめに[日本語で発話する]。umm, 筆者の「筆者は」[日本語で発話する]。mm, 修士研究少女ざ、じゃ、雑誌にみる[日本語で発話する]。umm, 『理想的少女』イメージの[日本語で発話する]。umm, [Rikaichanで「変遷」を検索する]変遷[日本語で発話する]。	出てくるものを[調べます]。そのあとは、普段ごの何でたっけ、Weblioとかで[調べること]します。昔頃は、日本語のウェブサイトでは見つからず。うーん, 「1. はじめに」。うーん, 「筆者の、筆者は」。えー, 「修士研究少女ざ、じゃ、雑誌にみる」。うーん, 「理想的少女イメージの」。うーん, [Rikaichanで「変遷」を検索する]「変遷」。		[要約を読まない。]
40					うん。今は変遷をRikaichanで読みましたね。	
41			はい[日本語で発話する]。ja.	「はい」。はい。		
42					うん。	
43			Umm, 2002年9月提出、において[日本語で発話する]。umm, 明治大正時代から戦後にかけて、発行、これは発行[日本語で発話する]。[Rikaichanで「発行」を検索する]「あ、発行」[日本語で発話する]。	うーん, 「2002年9月提出、において」。うーん, 「明治大正時代から戦後にかけて、発行、これは発行」[Rikaichanで「発行」を検索する]「あ、発行」。		
44					Rikaichanですか。	
45			Preverila sem.	確認しました。		
46					はい。	

47		Branja, ja. Umm, sãれた少女向け雑誌を分析の いたいたい[日本語で発話する][Rikaichanで 「対象」を検索する。]	読み方を、はい、うーん、「ãれた少女向け雑誌を 分析のいたいたい、たい、たい」[Rikaichanで「対象」を 検索する。]		
48				Rikaichanですか。	
49		対象[日本語で発話する。]	「対象」。		
50				[笑う。]	
51		対象[日本語で発話する][笑う]。Ja, zelo velikokrat preverjam. Paã, ali, ali se prav spomnim branja [確認します]。Umm, 対象とし[日 本語で発話する]。umm, 少女のイメージが「う ん、はい、はい」[日本語で発話する][Rikaichanで 「形成」を検索する。]	「対象」[笑う]。はい、よく確認します。まあ、読み 方を正しく覚えていくか[確認します]。うーん、 「対象とし」。うーん、「少女のイメージが、うーん、 はい、はい」[Rikaichanで「形成」を検索する。]		
52				Rikaichan。	
53		Rikaichan, ja.	Rikaichan, はい。		
54				うん。	
55		形成, あ, 形成された[日本語で発話する]。umm, プロセスを我が国全体の社会的文、社会的文化的 的[日本語で発話する]。	「形成, あ, 形成された」。うーん、「プロセスを我 が国全体の社会的文、社会的文化的」。		
56				Rikaichan。	
57		すい, すい, すい[日本語で発話する][Rikaichan で「推移」を検索する。]	「すい, すい, すい」[Rikaichanで「推移」を検索する 。]		
58				うん。	
59		Umm, recimo v tem primeru mi ni povsem jasno, zakaj se uporablja, umm, ta 的[日本語で発話する] ]dvakrat.	うーん、たとえばこの場合は、うーん、この「的」が 2回使われている理由がよく分からないのです。		
60				うん。	
61		社会的文化的[日本語で発話する]。	「社会的文化的」。		
62				うん。	
63		In grem pogledat, ali so kakšna primerna [説明 例文]。	ですから、適切な[説明、例文]などがあるかどう か調べます。		
64				そして今はGoogleです。	
65		Ja, na Google sem bila.	はい、Googleに移りました。		
66				うん。	
67		Paã to, to, v bistvu oznaãim besedilo in, umm,	まあこの、この、つまりテキストを選択して、うー ん、		
68				うん。	
69		Z levim klikom [右クリックのこと]imaã potem Search Google Japan for [英語で発話する] [と いう機能]。	左クリック[右クリックのこと]すると「Search Google Japan for」[英語で発話する] [という機 能]があります。		
70				うん。	
71		To in to besedo [「社会的文化的」を日本語版 Googleで検索します]。	この単語とこの単語[「社会的文化的」]を[日 本語版Googleで検索します]。		検索したい日本語の単語を、日本語版Googleで 検索すること。今回は、「社会的文化的」を 選択して右クリックをし、表示されるオプション 「Search Google Japan」を選択し、日本語版 Googleで検索する
72				なるほど。	
73		Umm,	うーん。		
74				そしてこれ[開いている単語]に移って、	
75		Ja.	はい。		
76				[聞き取り不能。]を開けて、	
77		Ja, jaz imam, imam nastavljen na default, da mi v bistvu kaže po Google.co.jp. Se pravi, da imam è in bliãje rezultate tem, ki bi jih v bistvu na Japonskem dobila. Ker takrat, ko sem bila v A [大 学名] , sem opazila, da dobiãem zelo različne rezultate od tega, kar tam, kar pa pri nas [スロベ ニア]。	はい、私は、検索はGoogle.co.jpを[Googleの]種 単設定にしているのです。つまり、日本語で検索 して出てくる結果に、できるだけ近づけるため です。なぜなら、A [大学名]にいた時、検索結果が ここはスロベニアで出てくるものと非常に異なる 、ということに気づいたからです。		
78				うん。	
79		Paã, èe z našim [スロベニア語版] Google.ai brskam, so za japonsãino samo zelo velikokrat bolj primerni rezultati, ti, ki jih v bistvu na, umm, japonskem Googlu dobim.	まあ、ここ[スロベニア語版]Googleで検索する と、日本語[の検索]自体は要するに、うーん、ほ んごの場合、日本語版Googleで出てくるもの の方が適切です。		
80				[検索結果がGoogleの言語設定によって]違うん ですか。	
81		So različni rezultati [笑う]。	違います[笑う]。		
82				そうですね。	
83		Se, Paã, eno je to, drugo pa [おそらく検索結果が Googleの言語設定によって違うという意味]。	そうですね、まあ、これはこうで、それは[おそらく検 索結果がGoogleの言語設定によって違うという意 味]。		
84				では、ほとんどは中国語[での結果]が出てきま すか、個人的に中国語の結果が多いです。	
85		Tudi, tudi se zgodi.	はい、そういうこともあります。		
86				ひらがなが検索にないときは[中国語が多い]。	
87		Tudi se zgodi, umm, pa, umm, veliko je tudi odvisno od zgodovine iskanja.	そういうことも、うーん、ありますし、うーん、検索 履歴の影響も大きいです。		
88				あ。	
89		Kaj imaã [何を過去に検索したかという意味] , ne	何があるか[何を過去に検索したかという意味] ですね。		
90				そうですね。	
91		Umm, pa v bistvu na slovenskem Googlu ti prej da ven, umm, slovenske [結果です] , slovenskih v bistvu ne toliko, ampak angleãke rezultate.	うーん、そして、つまり、スロベニア語版Google が、まず表示するのはスロベニア語の結果で す。まあ、スロベニア語の結果はあまりなく、 英語の結果です。		
92				うん。	
93		[スロベニア語版Googleで検索して日本語の結 果が] Èã jih le najde, ponavadi listo pokãaãe prvo, ne. Mene pa v bistvu veãkrat zanima, kako se, umm, beseda rabi v japonsãini.	[スロベニア語版Googleで検索して、日本語の結 果が]見つければ、それが先に出ますね。でも 私は、うーん、基本的に、その単語の日本語で の使い方に興味があります。		
94				うん。	
95		Umm, zdaj v tem primeru [日本語版Googleで「社 会的文化的」を入力して検索する]。	うーん、この場合は[日本語版Googleで「社会的 文化的」を入力して検索する]。		

96				社会的文化的。	
97		Ja, iščem to[行番号82の「社会的文化的」をさす]。	はい、これ[行番号82の「社会的文化的」をさす]を調べています。		
98				うん。	
99		In vidim, da je večinoma, da se parkrat pojavlja skupaj.	そして、ほとんどの場合、共起して表示されています。		
100				うん。	
101		Potem pa imaš vmes v bistvu 社会のおよび文化的[日本語で発話する]。recimo.	そして[言葉の間]には、たとえば、つまり、「社会のおよび文化的」とかです。		
102				うん。	
103		Ali pa to pikico[行番号82の中黒「・」のことをいう]，ki jo imaš vmes，ne.	あるいは、この点[行番号82の中黒「・」のことをいう]が間にありますね。		
104				うん。	
105		Umm, tako da predvidevam, da gre, da samo markata vejica ali pa pikica v samem besedilu.	うーん、ですから、これは、テキスト自体にコマや中黒が省略されているだけだと思います。		
106				うん。	
107		Umm, da to ni nekašna posebna skupna besedna zveza ali kaj podobnega.	うーん、何らかの特別な共起表現とかではないと思います。		
108				うん。	
109		Umm, と比較[日本語で発話する]。Ja, ta bič[日本語で発話する] zelo rada pozabljam.	うーん、「と比較」。はい、この「比較」、よく忘れてしまったり。		
110				[笑う。]	
111		kako se prebere, in istočasno se ga spomnim, ampak v redu.	読み方を、と同時に思い出しますが、まあ、いいのです。		
112				うん。	
113		Umm, こうさ、考察[日本語で発話する]？ [Rikaichanで「考察」を検索する] 考察[日本語で発話する] ja, ja.	うーん、「こうさ、考察」？ [Rikaichanで「考察」を検索する]「考察」です。はい。		
114				うん、訳しますか。	
115		Ja, を行った[日本語で発話する]。umm, 修士研究[日本語で発話する]。	はい、「を行った」。うーん、「修士研究」。		
116				ああ。	
117		Aja.	あ。		
118				ここまで。	
119		Prevedem, ja.	訳します。はい。		
120				普段は文を最後まで読んでから訳しますか。	
121		Umm, v bistvu si ponavadi poskusim, umm, sproti.	うーん、実は普段、うーん、読みながら。		
122				読みながら解釈して。	
123		V glavi prevajati. Pač, zdaj je malo drugače zaradi tega, ker moram še govoriti.	頭の中で訳そうとしています。まあ、今は話さなければいけないので、少し遅いですが。		
124				[笑う。]	
125		Kaj, kaj razmišljam, kaj delam in podobno[話さなければいけませんから]。	何、何を考えているとか、何をしているとか[話さなければいけませんから]。		
126				はい、はい。	
127		Tako da, umm, mislim, da bi ta stavek normalno, umm, da mi ga ne bi bilo treba posebej prevajati.	ということで、うーん、この[ような]文は普段、うーん、訳す必要が特にないと思います。		
128				うん。	
129		Umm, pač, v sam pomen stavka se ponavadi, umm, poglajbam talrat, ki mi celotna sestava stavka ni povsem jasna. Kar mislim, da se bo tukaj še zgodilo zaradi tega, ker so zelo dolgi stavki[笑う]。	うーん、まあ、文の意味自体については、普段、うーん、文の全体的な構成が明確ではないときに考えます。[今回読む]文が長いので、ここでそういう[文章の意味を考える]ことが、これから起きそうです[笑う]。		
130				うん。	
131		Umm, torej, umm[6秒間無音]。Tukaj piše, da piše tega članka umm, v bistvu, s to[文を再読する]，kot del svojega magistrskega študija, umm, študira te, umm, kako se v, v 少女[日本語で発話する]，magazinskih vid, umm, silo idejne ženske ali pa dekleta, in pa, kaj je za tole, 変遷[日本語で発話する]，aha, kako se ta[理想的な女性または少女のイメージ] spreminja, ja. In da[5秒間無音]，v bistvu gre za naslov članka, ki je bil objavljen leta 2000[2002年を2000年と間違えた]といふより，スロベニア語の文法では[2002年]が文末にくるため、最後まで読まなかったと思われる]，umm, ne naslov članka, 研究[日本語で発話する] ja, umm, タイトル[日本語で発話する] raziskave.	うーん、つまり、うーん[6秒間無音]、ここは、この記事の著者が、うーん、つまり、これは[文を再読する]、[著者]自身の修士研究の一部として、うーん、この、うーん、「少女」向け雑誌で、うーん、理想的な女性または少女などというイメージなのか、そして、これ[変遷]は何でしたか、ああ、これ[理想的な女性または少女のイメージ]がどう変わっていったのかを研究しています。はい、そして[5秒間無音]、要するに、にせ、[2002年を2000年と間違えた]といふより、スロベニア語の文法では[2002年]が文末にくるため、最後まで読まなかったと思われる]に出版された記事のタイトル、うーん、記事のタイトルではなく、「研究」です。うーん、研究の[タイトル]です。		
132				うん、どのような研究ですか。	
133		Umm, magistrska raziskava.	うーん、修士研究です。		
134				うん。	
135		Se pravi, predvidevam, da gre za magistrsko nalogo.	つまり、おそらく修士論文が。		
136				うん。	
137		Ki je bila objavljena leta 2002. in ta članek v bistvu gradi na tem, ki govori o, ki raziskuje te, umm, magazine za ženske, ki so bili, umm, objavljeni v obdobjih Meiji in Taisho in po, po vojni. Umm, pač, vidim, teh magazinov pa raziskuje silko 少女[日本語で発話する]，dekla, ženska, dekla v bistvu. Umm, 形成[日本語で発話する]，pač, kako, ja.	[修士論文が]2002年に出版されて、この記事は要するにその、うーん、明治・大正時代と戦後に出版された、うーん、雑誌に関して語って、研究しています。うーん、つまり、これらの雑誌に見られる[少女]、少女、女性、要するに少女のイメージを研究しています。うーん、「形成」、何でしたっけ。		
138				今はここですね。	
139		Ja.	はい。		
140				少女のイメージが形成。	
141		形成[日本語で発話する]。	「形成」。		
142				されたプロセス。	

143		Ja, kako se je v bistvu oblikovala ta slika[少女の]、umm, in pa, kaj je tole, 推移[日本語で発話する]「おそろ[Rikaichanで推移の読み方を確認している]。Kako je v bistvu, umm, kako se je v bistvu to razširilo na celo državo, tako v kulturnem pa socialnem smislu[という記事です]。	はい、つまり、どのようにこの[少女の]イメージが形成されたか、うーん、そして、これ[推移のこと]は何でだったか、「推移」[おそろ[Rikaichanで推移の読み方を確認している]。つまり、どのように、うーん、つまり、どのようにこれ[少女のイメージの形成]が、どのように社会的に、または文化的に全国に広がったか[という記事です]。		
144				今は量が国全体の社会的文化的推移と比較、ここではか。	
145		Umm, ja.	うーん、はい。		
146				うん。	
147		Pardon, v bistvu se primerja to, kar je slika[少女の] v samih, umm, teh magazinih, s tem, kar je v bistvu splošna slika[少女の] v državi, pač s kulturnega in sociološkega vidika. Pač, o tem.	失礼しました。実は、この、うーん、雑誌自体に見られる[少女の]イメージと、国全体の一般的な[少女の]イメージの社会的文化的比較です。まあ、これについて。		
148				考察を。	
149		考察[日本語で発話する]。ja. To je glavna tema.	「考察」は、これが主なテーマです。		
150				両のテーマですか。	
151		Za, umm.	その、うーん。		
152				どの記事ですか。	
153		Za, v bistvu za te članek, ki je tukaj na začetku napisan, umm, 少女雑誌[日本語で発話する]。	つまり、初めに記述されているこの記事です。うーん、「少女雑誌」。		
154				ああ、修士論文ですね。	
155		Ja, in članek.	はい、そして記事でもあります。		
156				誰の論文ですか。	
157		Umm, predvidevam, da od pisca te naloge, tega članka, ki je, umm, naga[わ] [日本語で発話する]。	うーん、この論文、この記事の著者の、うーん、「中川」と思っています。		
158				中川さん。	
159		ゆうみ[日本語で発話する]「[裕美]の読み方に迷う?」	「ゆうみ」[「裕美」の読み方に迷う?]		
160				ゆうみ、ひろみ?	
161		A, ひろみ[日本語で発話する]。	あ、「ひろみ」。		
162				うん。	
163		Bi tudi lahko bilo, ok.	それもありません。分かりました。		
164				うん。	
165		Ok, ja, mislim, da bi se ひろみ[日本語で発話する]boje sitalo.	はい、はい、「ひろみ」の方がいいと思います。		
166				うん。	
167		Umm, naprej[次を読みます]。	うーん、続いて[次を読みます]。		
168				うん。	
169	修士研究から得られた知見から、「少女」という言葉は、明治中期、教育制度の確立と近代化を背景にして誕生した新しいジェンダー・カテゴリーであると指摘出来る。	Umm, 修士研究から、得る、え、得た[日本語で発話する]「[Rikaichanで「得る」を検索する]。Ja, to sem spet pogledala.	うーん、「修士研究から、得る、え、得た」[Rikaichanで「得る」を検索する]。はい、また調べました。		
170				うん、Rikaichan。	
171		Ja, Rikaichan. Ker zlede, da porabljam tega[笑]「得られた」[日本語で発話する]「[6秒間無音]」。「ミ」[日本語で発話する]「知見のこと、呟く。Rikaichanで「知見」を検索する」。	はい、Rikaichanです。この「笑う」「得られた」を忘れななめて、「[6秒間無音]」「知見のこと、呟く。Rikaichanで「知見」を検索する」。		
172				うん、Rikaichan。	
173		知見[日本語で発話する]。	「知見」。		
174				うん。	
175		Aha, 知見[日本語で発話する]。ok, 知見から[日本語で発話する]。umm, 少女という言葉は明治中期[日本語で発話する]。prevarimo, 中期[日本語で発話する]「[Rikaichanで「中期」を検索します]」。	ああ、「知見」は、「知見から」、うーん、「少女」という言葉は明治中期、「中期」を確認します[Rikaichanで「中期」を検索します]。		
176				中期、うん。	
177		中期[日本語で発話する]。ja. Umm, きょう[日本語で発話する]「教育のことを言う」。ahh, spet sem pozabila [Rikaichanで「教育」を検索する]。	「中期」は、うーん、「きょう」[教育のことを言う]。ああ、また忘れちゃった[Rikaichanで「教育」を検索する]。		
178				うん、Rikaichan。	
179		教育[日本語で発話する]。Ja, Rikaichan, 教育制度の[日本語で発話する]。to 確率[日本語で発話する]「[確認します]」。確率[日本語で発話する]。Rikaichan「[Rikaichanで「確率」を検索する]」と近代化を、背景[日本語で発話する]?	「教育」は、Rikaichanで検索します。「教育制度の」、これ「確率」も「確認します」。「確率」Rikaichan「[Rikaichanで「確率」を検索する]」。「と近代化を、背景」?		
180				Rikaichan。	
181		Aja, preverjam[Rikaichanで「背景」を検索する]。背景にして[日本語で発話する]。	ああ、確認します[Rikaichanで「背景」を検索する]。「背景にして」。		
182				うん。	
183		誕生して、新しいジェンダー・カテゴリーであると[日本語で発話する]。umm, Rikaichan「笑う」[Rikaichanで「指摘」を検索する]。	「誕生して、新しいジェンダー・カテゴリーであると」。「Rikaichan「笑う」[Rikaichanで「指摘」を検索する]。		
184				うん。	
185		指摘できる[日本語で発話する]。	「指摘できる」。		
186				うん。	
187		Ok[15秒間無音]。Umm, pri daljših stavkih ga ponavadi še enkrat preberem.	はい[15秒間無音]。うーん、普段、文が長かったら再読します。		
188				うん。	
189		Dvakrat ali pa trikrat, no.	2回か3回ですが、		
190				うん。	
191		Umm[19秒間無音]として[日本語で発話する]。Aha, torej tukaj piše, da umm, zanima, ki je bilo pridobljeno iz te magistrske raziskave.	うーん[19秒間無音]、「として」。ああ、つまり、ここに書かれているのは、うーん、この修士研究から得られた知見は。		
192				うん。	

193		Umm[7秒間無音], v bistvu pokaže, kako se je pač ta beseda 少女 [日本語で発話する], pojem 少女 [日本語で発話する], umm, srečni obdobja Meiji, umm, 教育制度 [日本語で発話する] [Rikaichanで「教育制度」を検索する].	うーん[7秒間無音], 要するに, まあ, この「少女」という言葉, 「少女」という概念がどのように, うーん, 明治時代に, うーん, 「教育制度」 [Rikaichanで「教育制度」を検索する].		
194				教育制度。	
195		確立 [日本語で発話する].	「確立」.		
196				確立。	
197		V bistvu preko [教育制度].	要するに[教育制度]を通して.		
198				Rikaichanで確認していますか.	
199		Ja.	はい.		
200				うん.	
201		Umm.	うーん.		
202				さっきは教育の制度をRikaichanで調べましたか.	
203		Umm.	あう.		
204				Rikaichanで教育制度を調べるのは1回目ですか, 2回目ですか.	
205		Umm, ne, saj sem prej tudi pogledala. Saj sem rekla.	うーん, いいえ, さっきも調べました, そう言ったはず.		
206				ああ, もう調べたんです.	
207		Da sem [調べたと] 言いました, v prvo. Pač, po ponovadi mi pomaga, če v bistvu vidim branje, oziroma imam v mislih japonsko [の読み方か表現], pač! たぶん [「教育制度」日本語で発話する], pa istočasno še angleški prevod zraven, da lažje pridem do nekoga primernega slovenskega izraza.	はい, 1回目に [調べたと] 言いました, まあ, ふ, 普段は, まあ, 読み方を見て, あるいは日本語 [の読み方か表現] を覚えておいて, まあ, [「たぶん」] は [「教育制度」] ですね, そして, 同時に英語版もあれば, 何らかの適切なスロベニア語の表現にたどり着きやすいです.		
208				うん, うん.	
209		Umm [8秒間無音], umm, umm, pokaže, kako je v bistvu prišlo do, do te slike oziroma pojma 少女 [日本語で発話する] sredi tega obdobja Meiji preko umm, umm, ustaljenega, umm, sistema, vzporednega sistema [教育制度という意味だがスロベニア語の表現が思い出せなくて意味の近い表現を使う].	うーん [8秒間無音], うーん, うーん, つまり, どういうイメージが, 「少女」という概念がこの明治時代中期に, うーん, 既成の, うーん, 制度, 教育制度 [教育制度という意味だがスロベニア語の表現が思い出せなくて意味の近い表現を使う] を通じて, [どのように] 成り立ったのか示しています.		
210				うん, 教育制度.	
211		Ja, 教育 [日本語で発話する]. Ni vzgojni sistem. To bi jaz morala vedeti, ampak, v redu, zdajle ni.	はい, 「教育」, 養育制度ではないです, これ [「教育」という言葉の意味] は知っているべきですが, まあ, 今は.		
212				うん.	
213		Ne deluje. Umm, pa pač, kako se je v bistvu umm [イメージが], razvijala od tistega obdobja pa do danes [聞き取り不能]. Pač na, na podlagi vse [背景], umm, 背景 [日本語で発話する] je background [英語で発話する]. Se pravi, predvidevam, da na podlagi vsega, kar se je dogajalo v ozadju, poleg tega, umm, umm, umm, pač izobrazbe, šolskega sistema, da, umm, da gre še za ostale stvari, ki so se dogajale v ozadju, in to je, mislim, na podlagi tega se je ustrela nova kategorija, gender. V bistvu družbeni spol v slovenščini. Umm, ja, zdaj sem to [説明を] v bistvu zakomplcirala [笑う].	思い出せません, うーん, あとはまあ, どのように, うーん, その時代から今まで [イメージが] 変わったのか [聞き取り不能], まあ, [背景], 背景 [日本語で発話する], つまり, 背景で起こったこと全てをもとに, この, うーん, うーん, 教育制度を始め, うーん, それ以外の出来事も背景にあつて, それらが, それらをもとにこの新しいカテゴリーが整えられました, ジェンダー, スロベニア語で社会的性別です, うーん, はい, ね, まあ, [説明を] にしらせてしまいました [笑う].		
214				うん.	
215		Umm bo v redu ali lahko naprej berem?	うーん, これ大丈夫ですか, 続きを読んでもいいですか.		
216				どうぞ.	
217	当初一括りに「少年男女」とされてきた中から「女子」を切り離し, 「少年 / 少女」という枠組みを作り出す場として機能したのは, 子ども向けの雑誌メディアであった.	Umm [Rikaichanで「当初」を検索する], 当初 [日本語で発話する], To sem v Rikai, Rikaichan preverila.	うーん [Rikaichanで「当初」を検索する], 「当初」, これはRikai, Rikaichanで確認しました.		
218				うん, 当初.	
219		Ja, pa naprej - 一括りに [日本語で発話する], ひと [日本語で発話する] [読み方に近い自分自身に聞く, おそらくRikaichanで「一括り」を検索する]?	はい, そして続きは「一括り」, 「ひと」 [読み方に近い自分自身に聞く, おそらくRikaichanで「一括り」を検索する]?		
220				一括りと [聞き取り不能].	
221		一括り [日本語で発話する].	「一括り」.		
222				うん.	
223		Umm, mislim, da bom to [一括り] preverila zaradi tega, ker mi ni, umm, znana raba.	うーん, 使い方が分からないので, これ [一括り] を, うーん, 確認しようと思います.		
224				うん.	
225		Ampak [使い方が分からないどころか] mislim, da sem celo prvič videla. Umm.	ですが, [使い方が分からないどころか] 初めて見たかもしれませんが, うーん.		
226				今はGoogle.	
227		Ja.	はい.		
228				co.jpに移しましたね.	
229		Ja, in bom odprla Kotobank.jp [というウェブサイト].	はい, そして [Kotobank.jp] [というウェブサイト] を開きます.		
230				コトバンク, うん.	
231		Ja, in ta je v bistvu.	はい, そして, これは要するに.		
232				これ [コトバンク] もよく使いますか.	
233		Um, ponavadi uporabljam enega od prvih treh, ki se pokaže. Pač Koto, Kotobank recimo, da poznam, ali pa Weblio mi je tudi jaseu, umm, poznani. Ponavadi gledam to, no, da je v bistvu napisano, umm, pač s kanjiem, tako kot sem jaz iskala, pa v hirogami oziroma katakari v tem primeru zraven.	うーん, 普段は, 検索結果トップの中から1つを選んで表示します, まあ, Koto, Kotobankはまあよく使っています, あとはWeblioもかなり, うーん, 知っています, まあ, 普段はこれ [漢字と読み方] を探していますわ, 要するに, うーん, 私が検索したように漢字が書かれていて, ひらがな, この場合はカタカナがあるのを見ます.		
234				うん.	
235		V bistvu da se nekoliko vidi, da gre za nek vnos iz, iz, umm, iz, umm, slovarja, ne, Ker se tukaj vidi, da v bistvu imaš najprej v kanji, potem pa v oklepaju hiragano.	つまり, うーん, 辞書から, から, うーん, の見出し語だと分かる [ウェブサイト] が使いやすいですね, ここ [コトバンク] の定義は, まず漢字があり, カッコの中にはひらがながあると表示されていますから [使いやすいです].		
236				うん.	
237		Tukaj imaš še drugega [辞書], ta Dictionary Goo, Goo.	ここ [日本語版Google検索結果] は別の [辞書] もあります, この Dictionary Goo, Goo.		
238				Goo [Goo辞書のこと].	

239		【笑う。】 Kako je ze. Umm, pač, sicer je obratno [おそらくコトバンクとGooのウェブサイトにおいて、漢字とひらがなの表示される順番が違う。]。 Ampak	【笑う。】 同でしたかね。うーん、まあ、逆[おそらくコトバンクとGooのウェブサイトにおいて、漢字とひらがなの表示される順番が違う]ですけどね。ですが、	
240				うん。
241		Ali pa recimo, da imaš zraven [検索する単語に] napisano toba ali pa の意味 [日本語で発話する] [ウェブサイトがいいです]。]	または、[検索する単語に]「とほ」とか「の意味」が書かれている[ウェブサイトがいいです]。	
242				うん。
243		Umm, in potem grem prebrat [定義を]。]	うーん、そして、それから[定義を]読みます。	
244				うん。
245		Umm, 1つにまとめてくると [日本語で発話する] [コトバンクで「一括り」の定義を読む]、くると [日本語で発話する] ni mi jasen.	うーん、「1つにまとめてくると」[コトバンクで「一括り」の定義を読む]、「くると」はよく分かりません。	
246				そうですね。
247		Aha, tukaj piše [Rikaichanで「くると」を検索する]。]	ああ、ここに書いてあります[Rikaichanで「くると」を検索する]。	
248				Rikaichanで調べて、
249		Ja, piše pač to to tie up [英語で発話する]。 Aha, se pravi, v bistvu ひとつにまとめて [日本語で発話する] bi lahko že bilo to, ne.	はい、まあ、「to tie up」[英語で発話する]と書いています。ああ、つまり、要するに、「ひとつにまとめて」という意味でもいいかもしれませんね。	
250				うん。
251		Umm, マダ [日本語で発話する] [またのこと。] そのもの、いっかつ [日本語で発話する] [コトバンクで「一括り」の定義を読み続ける]。 Umm, no, tukaj je še ena definicija zraven, ki je v bistvu ista kot zgoraj, samo stavka [の原書] sta zamenjana [コトバンクでいくつかの定義が表示されている]。 Umm, v tem primeru sem zadovoljna s tem, kar sem dobila. Če se mi pa zgodi, da mi to, kar dobim iz slovarja, ni všeč.	うーん、「マダ」[またのこと。]「そのもの、いっかつ」[コトバンクで「一括り」の定義を読み続ける]。うーん、ここはもう1つの定義があって、上の定義と同じですが、文の順番が逆になっているので[コトバンクでいくつかの定義が表示されている]。あ、う、得られた[検索結果]で十分です。もし、辞書で見つけたものが気に入らない場合は、	
252				うん。
253		Grem pa potem še naprej gledat, ponavadi na kakšen umm, Yahoo! Chiebukuro, ker tam malo na daljše razloži.	検索を続けて、普段は、うーん、詳しく説明されているので、Yahoo!知恵袋とか調べます。	
254				うん。
255		Pač če imajo [judje] [利用者] probleme s kakšno besedo ali pa, umm, slovnico [Yahoo!知恵袋]に詳しい解説が載っています。 Umm, torej,当初一括りに少年男女とされていた中から [日本語で発話する]。]	まあ、入[利用者]が単語や文法[がわからず]に困っていたら、[Yahoo!知恵袋]に詳しい解説が載っています。うーん、つまり、「当初一括りに少年男女とされていた中から」。	
256				うん。
257		Umm, 女子を、きり、きり [日本語で発話する] [Rikaichanで「切り離す」を検索する]。 Rikaichan [笑う]。]	うーん、「女子を、きり、きり」[Rikaichanで「切り離す」を検索する]。 Rikaichan[笑う]。	
258				うん。
259		切り離す [日本語で発話する]。]	「切り離す」。	
260				切り離す。
261		Aja, točno.	ああ、そうでしたね。	
262				うん。
263		切り離す、少年少女という [日本語で発話する]。 mm [Rikaichanで「枠組み」を検索する]。 Rikaichan.	「切り離す、少年少女という」。 んん [Rikaichanで「枠組み」を検索する]。 Rikaichan.	
264				Rikaichan.
265		Ja, わく、枠組み [日本語で発話する]。]	はい、「わく、枠組み」です。	
266				うん。
267		Aa, 枠組みを作り出す場 [「場」の読み方に迷う。]と発音する。作り出す場 [日本語で発話する]？]	ああ、「枠組みを作り出す場」[「場」の読み方に迷う。]と発音する。「作り出す場」？	
268				うん。
269		Tukaj piše [Rikaichanで「場」の読み方を確認する]。]	ここに書かれています [Rikaichanで「場」の読み方を確認する]。	
270				Rikaichan.
271		Ja, No, predvidevam, da se v tem primeru bere kot ば [日本語で発話する]。]	はい、まあ、おそらくこの場合は「ば」と発音すると思います。	
272				うん。
273		Umm, [作り]出す場として機能したのは子供向けの、確認メディアであった [日本語で発話する]。]	うーん、[作り]出す場として機能したのは子供向けの、確認メディアであった。	
274				うん。
275		Umm [13秒間無音]。 še enkrat preverjam [Rikaichanで「枠組み」を再確認する]。]	うーん [13秒間無音]。 もう1回確認しています [Rikaichanで「枠組み」を再確認する]。	
276				今は何を調べていますか。
277		Umm, わく [日本語で発話する]。]	うーん、「わく」。	
278				枠組み？
279		枠組み [日本語で発話する]。 ja [30秒間無音]。 Zdaj v glavi premlavam, umm, ali sem [この文を] in problem stavki še enkrat, ali sem ga sploh prav razumela [を確かめるために]。]	「枠組み」。 はい [30秒間無音]。 今は頭の中で考えていて、うーん、そもそも[この文を]正しく理解しているかを確認するために、もう1回文を読んでいます。	
280				うん。
281		[40秒間無音]。 Ja, torej še zmeraj nisem prepričana, ali sem v celoti prav razumela ta stavek, ampak se mi zdi, da sem nekako bistvo dobila ven iz njega in se veliko več od tega ne bom ukvarjala z njim. Če pravi, umm, v bistvu, とういつ [当初の言い間違い]と一括り [日本語で発話する] [Rikaichanで「一括り」を再確認する]。 sem spet samo preverila v v Rikaichan.	[40秒間無音]。 はい、そうですね、この文を正しく理解しているかどうかは、まだ確かではありませんが、要点は大体読み取れたと思いますので、これ以上は調べません。つまり、うーん、要するに、「とういつ」[当初の言い間違い]と一括り [Rikaichanで「一括り」を再確認する]。 もう1回 Rikaichanで確認しました。	
282				うん。
283		Umm, najprej so skupaj dali, pač, umm, fante in dekleta in, in znotraj tega so v bistvu izločili 女子 [日本語で発話する]。 se pravi dekleta.	うーん、まずは、まあ、うーん、少年と少女を一括りにして、その中、要するに「女子」、つまり少女を切り離しました。	
284				うん。

285		Umm, in v tem, umm, framework, v tem okviru, delovnem okviru, umm, okviru v bistvu, umm, se pravi okviru, imenovanim fantezija ozirna dekle, umm [10秒間無音]. Kar v bistvu omogoča, da se lahko sploh, umm, ti dve kategoriji, oziroma ta okvir ustrezajo, so v bistvu bili mediji. 雑誌メディア [日本語で発話する]. Ne vem, ali čisto razumem [メディアの意味] v tem kontekstu, ker gre za magazin kot tak pa [メディア] [日本語で発話する] kot [メディア] [日本語で発話する].	うーん、そしてこの、うーん、枠組み [frameworkと英語訳を言う]。この枠、枠組み、うーん、つまり、少年または少女という枠組みの中に、うーん [10秒間無音]。つまり、うーん、この2つのカテゴリ、またはこの枠組みが作られたのは、変化するメディア [雑誌メディア] のおかげです。この文脈 [メディアの意味] がよく分かりません。雑誌は雑誌で、「メディア」は「メディア」ですから。		
286				うん。	
287		Se pravi, predvidevam.	つまり、おそらく。		
288					違う表現で訳しましたが(少し聞き取り不能。雑誌とメディアの違いについて聞いているかもしれない)。
289		Ja, ne, pač, to razumem.	はい、いいえ、これは分かるんです。		
290				うん。	
291		To sem pač z miško kar šla čez, ne.	これは、マウスのカーソルを合わせたけなんです。		
292				ああ、そうですか。	
293		Ann, pač, predvidevam, da je v tem smislu, da gre za revijo, ki se jo smatra kot nek medij v, v, v okviru štud, medijske študije, ne.	うーん、まあ、おそらく研究「メディア」研究の枠組みの中で、雑誌は何かのメディアとして見なされている、という意味だと思います。		
294				うん。	
295		Se pravi, da ne gre za dve ločeni stvari, v smislu za magazin pa medije kot si jih, ko najprej recimo pomislil na kakšno televizijo ali pa kaj takega, ne.	つまり、[雑誌とメディア] は2つ別々のものではないと思います。雑誌とは、普通、最初に思い浮かぶテレビなどのメディアではないですね。		
296				うん。	
297		Umm, in da v bistvu ta, v glavnem ta framework [英語で発話する], umm, so omogočile, umm, revije, ki so namenjene otrokom. Če grem zdaj naprej.	うーん、そして、要するにこの、主にこの枠組み [framework] [英語で発話する] が、うーん、子供向けの雑誌を可能にしたのです。それでは続いて。		
298				うん。	
299	1895明治28年6月、雑誌『少年世界』に「少女欄」と名付けられた記事が掲載された。	Umm, 1895年 [日本語で発話する], umm, 明治 [日本語で発話する], umm 28 [日本語で発話する].	うーん、[1895年], うーん、「明治」うーん、「28」。		
300				うん。	
301		9月 [日本語で発話する], mm, 雑誌 [日本語で発話する], umm, 少年世界 [日本語で発話する], umm, 少女欄 [日本語で発話する]. Preverjam, ali je to ran [日本語で発話する] [Rikaichanで「欄」の読み方を検索する]. Ja.	「9月」んん、「雑誌」うーん、「少年世界」うーん、「少女欄」、これ「欄」が「らん」なのか確認しています [Rikaichanで「欄」の読み方を検索する]。はい。		
302				ああ、欄。	
303		Umm, 少女欄と名付けられた記事が [日本語で発話する], ah, kaj je že to [日本語で発話する]?	うーん、「少女欄と名付けられた記事が」、ああ、これ [記事] は何でしたか。		
304				確認しましょう。	
305		Preverjam [Rikaichanで「欄」を検索する]. けいせい [掲載の言い間違い] された [日本語で発話する].	確認しています [Rikaichanで「欄」を検索する]. 「けいせい [掲載の言い間違い] された」。		
306				もう一度。	
307		A, 掲載 [日本語で発話する]. ja.	あ、「掲載」はい。		
308				うん。	
309		Spet pogosta beseda sicer, umm, この記事 [日本語で発話する], aja, ne, to je že bil en stavek zdej.	繰り返しになりますが、一般的な単語です。うーん、「この記事」あ、これでもう1つの文でしたね。		
310				うん。	
311		Umm, se pravi, umm, leta 1895, deveti mesec, kaj je že to, ni avgust, september.	うーん、つまり、うーん、1895年、9ヶ月目、これは何でしたっけ、8月ではなくて、9月です。		
312				[笑う.]	
313		[笑う.] Ja, no, pač.	[笑う.] はい、まあ。		
314				そのときに何があったんですか。	
315		Ja, umm, je v reviji, umm, 少年世界 [日本語で発話する], kaj je to, fantovski svet, svet fantov.	はい、うーん、「少年世界」という雑誌に、これどういう意味ですか、少年世界、少年の世界。		
316				うん。	
317		Je, umm, je v njem začel, se je začela objava članka z naslovom [少女欄]. Olanika ali pa kolumne, ne vem, v bistvu iz tega konteksta ne razumem, ali se je nadejevala. Predvidevam, da se je, ker je.	うーん、その雑誌から始まり、「少女欄」という記事の掲載が始まりました。記事か欄、よく分からずです。この文脈から、連想していたかどうかは分かりませんが、していたと思いますが。		
318				うん、うん。	
319		Umm, pač, specifično datum začetka omenjan. Umm, kolumne, umm, 少女欄 [日本語で発話する]. Samo preverjam [Rikaichanで「欄」の意味を確認する].	うーん、記事が始まった日付が送られていますが、うーん、「少女欄」という欄の [記事] が送られていますが、ちょっと確認します [Rikaichanで「欄」の意味を確認する]。		
320				うん、もう一度 [確認する]。	
321		Aja, saj, pač column of text, ja.	ああ、まあ、テキストの欄 [column of textと英語訳を言う]。はい。		
322				うん。	
323		Umm, v bistvu 少女 [日本語で発話する] kolumna, v bistvu.	うーん、要するに「少女」欄です、要するに。		
324				うん。	
325		Ja, zdaj sem se spomnila, da je to res.	はい、今本当にそうだと思い出しました。		
326				そうですか。	
327		Ja, ker se, umm, spomnim, ker sem prej raziskovala te stvari, ne.	はい、前にこれについて調べていたので、うーん、思い出しました。		
328				うん。	
329		Nisem, nisem imela datuma sicer, ampak spomnim se pa kolumne 少女欄 [日本語で発話する].	日付はありませんでしたが、「少女欄」という欄は覚えていました。		
330				少女、うん。	
331	この記事欄の好評を受け、1902明治35年、最初の少女雑誌である『少女界』が金港堂書籍から創刊された。	Ja, umm, この記事欄のこう、好評 [日本語で発話する] [Rikaichanで「好評」を検索する]? 「好評」 [日本語で発話する], sem preverila, ja.	はい、うーん、「この記事欄のこう、好評」 [Rikaichanで「好評」を検索する]? 「好評」、確認しました。はい。		
332				うん、Rikaichan.	

333		Umm. を受け [日本語で発話する]. umm. 1902年 [日本語で発話する].	うーん。「受け」。うーん。「1902年」。		
334				うん。	
335		Umm. 明治35 [日本語で発話する].	うーん。「明治35」。		
336				うん。	
337		最初の少女雑誌である少女界がきん. き [日本語で発話する]. umm. to predvievam, da je ime zalo zbe, in Rikaichan takšnih stvari.	「最初の少女雑誌である少女界がきん. き」。うーん. これは出版社の名前だと思いますが. Rikaichanは.		
338				うん。	
339		Ni ravno sponobna [翻訳不能] [笑う]. Kako je ze.	これ [出版社名のこと.] があまり [翻訳不能] [笑う]. 向でしたか.		
340				それは何ですか. 5つの漢字のところですね.	
341		Mm. no, jaz bi, če bi sama iskala, bi šla do tukaj, ker je 金港堂 [日本語で発話する]. napisan, ne [語力が金港堂+書籍ではなく. 「金港堂+籍」と理解しているようだ].	んん. まあ. 私は. 自分で探していたら. 「金港」と書かれているところに行き着くのですよ [語力が「金港堂+書籍」ではなく. 「金港堂+籍」と理解しているようだ].		
342				うん。	
343		No, da j [コンピュータに話しかける. 漢字を選択しようとしている]. No, potem pa mi vsaj to označi.	ほら [コンピュータに話しかける. 漢字を選択しようとしている]. それでは. せめてこれを選択して.		
344				うん。	
345		Aha. [コンピュータが] vseh pet [の漢字] mi jih je označil.	ああ. [コンピュータが] 5つ [の漢字] を選択してしまいました.		
346				うん。	
347		Pač, označevanje knjigev v PDFu preko Mozille je včasih malo težavno.	まあ. 時々Mozillaで. PDF上の漢字を選択することが難しいです.		
348				うん [聞き取り不能].	
349		In potem se kakšne več označi in podobno in potem karkoli je ze.	そして. 選択される漢字が多すぎたりとか. そういう感じですよ.		
350				そして. 今はGoogleで調べていますね.	
351		Ja, vseh pet knjigev.	はい. 5つの漢字を全部です.		
352				[聞き取り不能.]	
353		In sem dobila naprej きん. 金港堂. 金港堂 [日本語で発話する].	そして. まずは「きん. 金港堂. 金港堂」が出てきました.		
354				kinkoudou.co.jp.	
355		Ja, ja.	はい. はい.		
356				つまり. 出版社自身のウェブサイトですね.	
357		Ja, no, saj ne vem, ali gre, verjetno, verjetno gre za 堂. 堂 [日本語で発話する]. aja. 書籍 [日本語で発話する]. No, pač, to, ta zadnja dva knjiga sta bila 書籍 [日本語で発話する]. potem je ločilo no, da gre za njih [出版社の名前]. ja [笑う]. Se pravi, き [日本語で発話する]. umm. 金港堂. 堂 [よせ. 書籍 [日本語で発話する]. umm. か [日本語で発話する]. ah, to sem spet pozabila. Rikaichan [Rikaichanで「新刊」を検索する].	はい. まあ. そうなのかどうか分かりませんが. たぶん. たぶんそれです. 「堂. 堂」. ああ. 「書籍」です. まあ. この最後の2つの漢字は「書籍」です. から. [出版社の名前だというのには] 協が通って. ます. はい [笑う]. っつまり. 「き」. うーん. 「金港堂. 堂」. よせ. 書籍. うーん. 「から」. ああ. また. 忘れました. Rikaichan [Rikaichanで「新刊」を検索する].		
358				うん。	
359		新刊された [日本語で発話する].	「新刊された」.		
360				うん。	
361		『少女界』は「少年男女」から切り離され「少女」と総称されるようになった「女子」を対象にした初めての雑誌であるとともに. 現在発行されている少女マンガ雑誌の源流となった。	うーん. つまり. うーん. この間. さっき述べられた欄の好評のおかげで. 1902年に. うーん. 「少女界」という最初の「少女」雑誌が「きんどうかい」 [金港堂の若い間達] 書籍で出版されました. うーん. 「少女界」は. うーん. 「少年男女」から切り離され. 少女どう. そう. そうかい. [総称のこと] Rikaichanで「総称」を検索する [「総称」].		
362		Umm. zdaj, zaradi, umm. dobrega sprejetja te kolumne, prej omenjene kolumne, je leta 1902. umm. izšla prva 少女 [日本語で発話する]. revija, imenovana 少女 [日本語で発話する]. [pri zalozbi ki kinどうかい [金港堂の若い間達]]. Umm. 少女界は [日本語で発話する]. umm. 少年男女から切り離され. 少女とそう. そう. そうかい [日本語で発話する] [総称のこと] [Rikaichanで「総称」を検索する] [総称 [日本語で発話する].		うん. Rikaichan.	
363		Ja. 総称され [日本語で発話する]. umm. pomeni š e [聞き取り不能] [Rikaichanで「総称」の意味を確認しているかもしれない]. Ok, bomo videli: 総称されるようになった [日本語で発話する]. umm. 女子をたい. 対象 [日本語で発話する].	はい. 「総称され」. うーん. あとは意味 [聞き取り不能] [Rikaichanで「総称」の意味を再確認しているかもしれない]. まあ. いいです. 「と総称されるようになった」. うーん. 「女子をたい. 対象」.		
364				うん。	
365		Preverjam [Rikaichanで「対象」を検索する].	確認しています [Rikaichanで「対象」を検索する].		
366				[聞き取り不能.]	
367		Ja [笑う]. Pač, pač, ker preverjam.	はい [笑う]. まあ. まあ. 確認していますから.		
368				[聞き取り不能.]	
369		対象にした初めての雑誌であるとともに現在発行されている少女マンガ雑誌の. 源流 [日本語で発話する]. Bom preveril [Rikaichanで「源流」を検索する].	「対象にした初めての雑誌であるとともに現在発行されている少女マンガ雑誌の. 源流」? 確認します [Rikaichanで「源流」を検索する].		
370				漢字をですか.	
371		源流となった [日本語で発話する].	「源流となった」.		
372				うーん. 新刊されたはもう説明しましたか. もう.	
373		Ja.	はい.		
374				訳していますか.	
375		Umm. ja, pač, da se je, da, prevedla sem ta stavek, da, da je pač na podlagi te kolumne potem izšla prva re. 少女 [日本語で発話する] revija.	うーん. はい. これは. まあ. この欄をもとに. 後で初めての「少女」雑誌が発行された. この文を訳しました.		
376				うん. うん.	
377		Ja.	はい.		
378				失礼しました.	
379		Umm.	うーん.		
380				続きましょう.	
381		[11秒間無音] Umm. preverjam, kaj je ze ta 対象 [日本語で発話する] [Rikaichanで「対象」を確認する].	[11秒間無音.] うーん. この「対象」は何だったか確認しています [Rikaichanで「対象」を確認する].		
382				うん。	



383		[9秒間無音。]Umm, torej, v tem stavku piše, da umm, ta 少女界[日本語で発話する], ki je v bistvu bil izveščen iz predjane revije, 少年界[日本語で発話する], umm, [そのおかげで] se je ustvaril ta splošen termin 少女[日本語で発話する], umm, oziroma, umm, mislim, termin, skupina, cela skupina 少女[日本語で発話する], oziroma 女子[日本語で発話する], Umm, [5秒間無音], ja, ker je v bistvu ta revija ciljala njih in je postala, in je v bistvu, prva, revija, prva revija, na podlagi katere so v bistvu tudi vse današnje, umm, 少女[日本語で発話する] revije, magazine nastali. Tako nekako [笑う]。[9秒間無音。]うーん, つまりこの文では, うーん, 要するに元の雑誌「少年男女」から切り離された, この少女については, うーん, 「そのための」一般的なこの「少女」という概念が, うーん, または, うーん, まあ, 概念, グループ「少女」あるいは「女子」というグループ「少女」を「女子」のこと, が生まれたのです, うーん, [5秒間無音]はい, 要するに, この雑誌は女子を対象にして, 要するに, 初めての, 雑誌, 初めての「女子を対象とした」雑誌になり, そして, 要するに現在の, うーん, 全ての「少女」雑誌, 雑誌の祖雑誌を言う, 「も」それをもとに成り立った, という感じですよ [笑う]。		
384				うん。
385	少女マンガの歴史は, 戦後, 手塚治虫の登場とともに始まった。	Umm, 少女マンガの歴史は戦後[日本語で発話する], umm, 手塚治虫の登場[日本語で発話する]? Preverjam [Rikaichanで「登場」を検索する]。	うーん, 「少女マンガの歴史は戦後」, うーん, 「手塚治虫の登場」? 確認しています[Rikaichanで「登場」を検索する]。	
386				うん。
387	『少女クラブ』(講談社)に掲載された「リボンの騎士」(手塚治虫著)は, 女の子の間の心を持つサファイアを主人公とした作品であり, サファイアは絶えず自ら剣を持って戦った最初の「戦う少女」となった。	Umm, 登場とともに始まった[日本語で発話する], [始まった]ということ, Umm, zgodovina 少女[日本語で発話する], mange se je po vogni začela skupaj s Tezuko Osamuem, Umm, 少女クラブ[日本語で発話する], [カタカナで混乱する]。	うーん, 「登場とともに始まった」[始まった]ということ, うーん, 「少女」マンガの歴史は戦後手塚治虫とともに始まりました, うーん, 「少女」クラブ, [カタカナで混乱する]。	
388				うん。
389		V originalu je bilo to napisano s kanjiji. Vsaj jaz sem videla tudi take[漢字表記] verzije[笑う]。	原文は漢字で書かれていました, 少なくとも, 私はその「バージョン」[漢字表記]も見かけました [笑う]。	
390				うん, ただしこはカタカナですね。
391		Umm, ja.	うーん, はい。	
392				うん。
393		Tukaj je napisano v katakani, ja, Umm, 少女クラブ, 講談社[日本語で発話する], umm, [日本語で発話する], Aja, ravno prej smo ga imeli, pa sem ga soot pozabila[Rikaichanで「掲載」を再確認する], 掲載[日本語で発話する]。	ここは, カタカナで書かれています, はい, うーん, 「少女クラブ」, 講談社, うーん, 「こ」, あ, ちょうどこの前に取りました, が, また忘れてしまいました[Rikaichanで「掲載」を再確認する], 「掲載」。	
394				うん。
395		された「リボンの騎士」, 手塚治虫, しや[日本語で発話する], [著の言い間違い, おそらく「著者」の「者」に似ているので間違える]? Ne, ne vem, ali se to tako prebere[Rikaichanで「著」を検索する]。	「されたリボンの騎士」, 手塚治虫, しや[著の言い間違い, おそらく「著者」の「者」に似ているので間違える]? はい, この「読み方」ではないです[Rikaichanで「著」を検索する]。	
396				最後の漢字, 著ですか。
397		著[日本語で発話する]。	「著」。	
398				著。
399		著[日本語で発話する]。	「著」。	
400				うん。
401		Sem preverila, ok, Teja sploh nisem vedela, umm, [しや] [日本語で発話する], 「少女」の少女をおうとするが「少女」ではなく「女の子」と気づく], umm, 女の子の間の心を持つサファイアを主人公とした作品であり, サファイアは絶えず自ら剣を持って戦った最初の「戦う少女」となった。	確認しました, はい, 全然知りませんでした, は, うーん, [しや] [少女の少女をおうとするが「少女」ではなく「女の子」と気づく], うーん, 「女の子の間の心を持つサファイアを主人公とした作品であり」, サファイアは絶えず自ら剣を持って戦った最初の「戦う少女」と確認しています, [Rikaichanで「自らの読み方を確認する」]。	
402				うん。
403		Ja, to tudi [この読み方もあるという意味], おのずから[日本語で発話する], Mm, bomo sli kar z mizura [日本語で発話する]。	はい, これも[この読み方もあるという意味], 「おのずから」, んん, 「みずから」にしましょう。	
404				うん。
405		Umm.	うーん。	
406				どうしてそう決めたんですか。
407		Umm, zaradi tega, ker sem to [みずから] večkrat slišala.	うーん, これ [みずから] を聞いたことが多いです, から。	
408				うん。
409		Umm, uporabljeno, おのずから[日本語で発話する], sem tudi že slišala, samo ne tako pogosto kakor mizura [日本語で発話する]。	うーん, 「みずから」が使われるのを [聞いた] ことが多いです, 「おのずから」も聞いたことがあります, 「みずから」程ではないです。	
410				つまり, おのずからよりみずからをよく聞いたことが, ありますから。
411		Ja.	はい。	
412				うん。
413		Zdaj, umm, če bi mi bilo toliko v interesu, bi preverjala, katero se večkrat uporablja, umm, ampak se mi ne da[笑う]。	で, うーん, 興味があれば, どちらの方がよく使われているか確認しますが, うーん, 面倒です [笑う]。	
414				[笑う。]
415		Ne, včasih vem, da so, da so napisane te, umm, pač v tem slovarčku, ki se kot Rikaichan pogosto uporablja, um, so včasih na prvem mestu, dobljena stvari, ki se jih ne uporablja tako pogosto, vsaj v pogovornem jeziku, kar sem jaz opazila, kot pa tisto, kar je recimo na drugem mestu napisano. Ampak sem videla, da se podo, um, podobna oziroma ista razporeditev pogosto tudi v japonskih slovarskih pojavi, tako da predvidevam, da gre tukaj tudi za kakšno zastarelost slovarjev, zraven, se pa ne spuščam toliko v to, da bi dejansko vedela kako in kaj, ne.	んん, 時々書かれています, うーん, まあ, Rikaichanのように表示される辞書で, うーん, 私の経験上, 時々あること, 雑誌の定購や定購など, が最初に書かれています, が, [それは] 少なくとも, 口語で2つ目に記載されている単語の読解, ほとんど最初には使われていないのです, けど, 似たような [他の] 辞書でも同じような構成がよく見られると気づいたので, これは辞書の定購を期待していると思いますが, 何がどうなっているか分かるほど詳しくは調べていません。	
416				うん。
417		Umm, 自ら剣を持って戦った最初の戦う少女となった[日本語で発話する], Umm, torej, tukaj piše, da, umm, v reviji 少女クラブ[日本語で発話する], ki je, umm, bila izdana pri Koudanshi, umm, in imela notri manga s naslovom 「リボンの騎士」 [日本語で発話する], avtorja Tezuka Osamuja, in da gre tukaj za, umm, in specifično povedan spol glavnega junaka. V tem primeru piše samo, da glavni junak ima arce oboje, umm, deklica in dečka, je pa ime pač サファイア [日本語で発話する], zraven, na podlagi Cesar bi lahko predvidevali, da lahko gre primarno za, umm, deklico.	うーん, 「自ら剣を持って戦った最初の戦う少女」となった, うーん, つまりこれは, うーん, 講談社で出版された「少女クラブ」という雑誌に, うーん, 手塚治虫の「リボンの騎士」というマンガがあった, うーん, この場合主人公の性別が特に明記されていません, 主人公が両方, うーん, うーん, 少女と少年の心を持つことだけが書かれています, が, 名前も, まあ, 「サファイア」ですから, そこから, うーん, 生まれた, 初めての, うーん, 戦う少女が生まれた, まあ, この簡単なテーマである「戦う少女」が [生まれました]。	
418				うん。
419		Umm, ja, pa v bistvu potem je še uporabljen ta サファイアの題[日本語で発話する], se pravi, da gre za princeso, umm, ki se je s svojim, umm, mečem v roki bojevala in tako je, umm, nastala postala prva, umm, deklica, ki se bojuje, 戦う少女 [日本語で発話する], kar je pač tema tega ó lanka.	うーん, はい, あと要するに, この「サファイアの」題の [題] も使われていますか, つまり, うーん, 自分, うーん, 剣を持って戦った娘のことで, そこから, うーん, 生まれた, 初めての, うーん, 戦う少女が生まれた, まあ, この簡単なテーマである「戦う少女」が [生まれました]。	
420				うん。

421	以後、少女マンガには「戦う少女」をモチーフにした作品が現在に至るまで数多く描かれている他、アニメーションやドラマといった異なるメディアにおいても「戦う少女」のモチーフを散見することが出来る。	Umm, 以後、少女マンガには戦う少女をモチーフにした作品が現在に至るまで数多く描かれている他、アニメーションやドラマといった異なるメディアにおいても「戦う少女」のモチーフを散見することが出来る。 [Rikaichanで「異なる」を検索する]。Preverjam [Rikaichanで「異なる」を検索する]。	「うーん、以後、少女マンガには戦う少女をモチーフにした作品が現在に至るまで数多く描かれている他、アニメーションやドラマといった異なるメディアにおいても「戦う少女」のモチーフを散見することが出来る。」	
422				うん。
423		Ja, 至るまで[日本語で発話する]。umm, すうおく [日本語で発話する]。[数多くのこと]? No, preve [Rikaichanで「数多く」を検索する]。数多く[日本語で発話する]。	はい、「至るまで」うーん、「すうおく」[数多くのこと] いろいろ、確認します[Rikaichanで「数多く」を検索する]。「数多く」。	
424				うん。
425		Sem preverila, ok, 数多く書かれている他[他]の読み方に少し違う]。アニメーションやドラマといった異なるメディアにおいても「戦う少女」のモチーフを散見することが出来る。 [Rikaichanで「異なる」を検索する]。	はい、確認しました。「数多く書かれている他」[他]の読み方に少し違う]。アニメーションやドラマといった異なるメディアにおいても「戦う少女」のモチーフを散見することが出来る。 [Rikaichanで「異なる」を検索する]。	
426				うん。
427		異なるメディアにおいて戦う少女のモチーフを[日本語で発話する]。umm, Rikaichan [Rikaichanで「散見」を検索する]。Umm, さ、散見[日本語で発話する]。	「異なるメディアにおいて 戦う少女のモチーフを」。うーん、Rikaichan [Rikaichanで「散見」を検索する]。うーん、さ、「散見」。	
428				うん。
429		散見することができる[日本語で発話する]。Umm, aha, 以後[日本語で発話する]。[8秒無音] Umm, tukaj piše, da je meču, umm, delikta, ki se bojuje, bil umm, do zdaj uporabljen že v manjstarih delih, poleg šolac [日本語で発話する] ljudi v animaciji, drami, umm, といった異なる[日本語で発話する]。in podobnih medijih, Umm, においても戦う少女のモチーフを[日本語で発話する]。umm, 。	「散見することができる」。うーん、ああ、「以後」[8秒無音]。うーん、うーん、ここは、うーん、戦う少女のモチーフが今まで、うーん、すでに様々な作品において、「少女マンガの他」にアニメーションやドラマ、うーん、「といった異なる」そして、そのようなメディアにおいて使われてきたと書いています。うーん、「においても戦う少女のモチーフを」。うーん、	
430				今は同じの[文]を確認しましたか。
431		Ja, še enkrat.	はい、もう1回です。	
432				うん。
433		散見[日本語で発話する]。ja, Umm, v bistvu ta zadnji del stavka je nekako samo ponovitev prvega v drugi obliki[笑う]。Jaz ga tako razumem, no, Pač, da se lahko vidi ta motiv, umm, delikta, ki se bojuje, tu in tam v medijih nasplošno.	「散見」はい、うーん、要するにこの文後半は、文前半のただの繰り返しです[笑う]。少なくとも、私はそう解釈しています。まあ、この、うーん、戦う少女のモチーフが、一般的にメディアであちこちに見られるというわけです。	
434				うん。
435	それでは、少女マンガは「戦う少女」をどのように描いてきたのだろうか。当初、少女マンガにおける「戦う少女」研究は、斎藤美奈子[紅一点論](1998)、『少女たちの戦歴』(1998)、村瀬ひろみ[フェミニズム・サブカルチャー批評宣言](2000)、斎藤環「戦歴少女の精神分析」(2000)を始めとするマンガ批評研究を中心に行われた。	Umm, それでは少女マンガは戦う少女をどのように描いてきたのだろうか。[日本語で発話する]。Tukaj postavi vprašanje umm, torej, kako se, kako malo [日本語で発話する] manga portretira, umm, delikta, ki se bojuje, umm, とうい[当初の言い間違い]。少女マンガにおける戦う少女研究は[日本語で発話する]。umm, tukaj gre za ime.	うーん、「それでは少女マンガは戦う少女をどのように描いてきたのだろうか」。ここで質問です。うーん、つまりどのように、「少女マンガがどのように」に、うーん、戦う少女を描くか、うーん、「とうい」[当初の言い間違い]。少女マンガにおける戦う少女研究は、うーん、これ[斎藤美奈子]は名前のことで。	
436				うん。
437		Ki ima en zelo zakompliciran prvi kanji[笑う]。	難しい1つの漢字の[名前][笑う]。	
438				[笑う。]
439		Ne vem, ali sem ga že kdaj videla.	見たことがないかもしれません。	
440				どうして名前だと思ったんですか。
441		Umm, najprej me že ta, mislim, iz petih knjig je narejen in japonščina nima zelo pogosto petih knjigov na kupu.	うーん、まずは、この、まあ、5つの漢字でできていますが、日本語では、5つの漢字の熟語はほとんどないと思います。	
442				うん。
443		Razen, če gre za kakšno ime, Umm, potem že ta drugi kanji [難を指す] je ta, kaj že, フジ [日本語で発話する]。ki je zelo pogosto v priručnik, pa ta Minako je pa pač Minako.	名前以外は、うーん、あと、この2つ目の漢字[難を指す]も、何でしたか、「フジ」、部首によつてきます。そして、この美奈子はまあ、美奈子です。	
444				うん、名前。
445		Ja, torej, kar bi rada vedela kako se ime prebere, zadevo [斎藤美奈子] kopiram [日本語版Google]。umm, pa poiščem ali so tukaj. Sicer, um, ko mi dela [コピー]の操作ができていない]。Ni, ni, ni kopiral.	はい、そして、名前の読み方が知りたいですから、これ[斎藤美奈子]をコピーして、うーん、こ[日本語版Google]にコピーして、あるかどうか調べてみます。[コピー]の操作ができていない]。コピーできていない、できていないです。	
446				うん。
447		Umm [コピーしてGoogleで「斎藤美奈子」を検索する]。pa pogledam, ali obstaja druga imena [同じ名前の他の人という意味] ali že kaj piše. Na pojdi [コンピュータに話しかける]。Ampak če gre za, če gre za nekoga, ki je zadevo objavil, bi [検索結果に] moralo biti ime prisotno.	うーん[コピーして日本語版Googleで「斎藤美奈子」を検索する]。そして、他の名前[同じ名前の他の人という意味]があるか、書かれているか調べます。ほら、やって[コンピュータに話しかける]。でも、もし何かを出版した人だったら、名前が[検索結果]にあるはずです。	
448				うん。
449		Aha, Sašo, Ne, To ni isti kanji [おそらく「秀」と「書」のこと, Rikaichanで「書」の読み方を確認する]。Aha, možno bi bilo gleda na dano branje, ki ga Rikaichan da, Umm, predvidevam, da gre za staro obliko kanjija.	ああ、サイトウ、いいえ。同じ漢字ではないです「おそらく「秀」と「書」のこと。Rikaichanで「書」の読み方を確認する」。ああ、Rikaichanが提供する読み方によると、あり得るかもしれませんが、うーん、旧字体だと思います。	
450				うん。
451		Umm, se prvi Sašo Minako Umm, zdaj za ime [タイトルのこと]。za naslov spet uporabim Rikaichan [Rikaichanで「紅一点論」を検索する]。[紅一点論] [日本語で発話する]。umm, 少女たちの戦、[日本語で発話する]。[おそらく「歴」を見て「歴史」の「史」を思い出す Rikaichanで「戦歴」を検索する]? A, 戦歴, točno.	うーん、つまり斎藤美奈子です。うーん、今は名前[タイトルのこと]。タイトルの[検索]のために、またRikaichanを使っています[Rikaichanで「紅一点論」を検索する]。umm, 1998年、うーん、「少女たちの戦、」[おそらく「歴」を見て「歴史」の「史」を思い出す Rikaichanで「戦歴」を検索する]? あ、「戦歴」、そうでしたわ。	
452				うん、Rikaichan。
453		Ja, Umm, 1998年 [日本語で発話する]。umm, spet ime, た、たせひろ [日本語で発話する]。[村瀬ひろみのこと]を言う?	はい、うーん、「1998年」、うーん、また名前です。「た、たせひろ」[村瀬ひろみのこと]を言う?」	
454				何とか何とか。
455		Ja, Preverjam [村瀬ひろみ]を日本語版Googleで検索する]。Men, ja, knjige so na Amazonu, samo mislim, da ne bo krajše primka tam napisanega.	はい、確認しています[村瀬ひろみ]を日本語版Googleで検索する]。んん、はい、本はAmazonにあります。名前の読み方はそこに載っていないと思います。	
456				つまり、今Googleで調べたら出てきたのは、
457		Ja, spet sem šla na [日本語版] Google. Ja, tja, točno, ja.	はい、また[日本語版] Googleに移りました。はい、そこですね、はい。	
458				うん。
459		Umm, pa nikjer ne zgleda, da bi takoj dobila branje za to ime, tako da poskusim še brez imena.	うーん、そして、この名前の読み方は、すぐに思いつられないようなので、今は名前なしでやってみます。	
460				うん。
461		Samo za, za 村瀬 [日本語で発話する]?	[村瀬]だけを、「村瀬」?	
462				うん。

463		Bi lahko bil, ja.	ありますね。		
464				うん。	
465		Zakaj sem pa jaz prej rekla tase [日本語で発話する]. pa ne vem.	どうして、私がさっき「tase」と言ったか分かりません。		
466				[笑う.]	
467		Mislim, da sem napačen prvi karji videla. Se pravi Murase Hiromi, フェミニズム、サブカルチャー [日本語で発話する]. Mm, to [批評] spoti Rikaichan [Rikaichanで「批評」を検索する].	たぶん、1つ目の漢字を見間違えました。つまり、村瀬ひろみ、「フェミニズム」サブカルチャー。ん、これ「批評」はまたRikaichanです[Rikaichanで「批評」を検索する].		
468				うん。	
469		批評 [日本語で発話する].	「批評」。		
470				うん。	
471		批評宣言 [日本語で発話する]. umm, 2000年前後 [日本語で発話する]. umm, タマキ [日本語で発話する]? Branje z Rikaichan [確認します]. Vseprto [Rikaichanで「運」を調べるか「戦闘」を調べるか不明].	「批評宣言」, うーん, 「2000年前後」, うーん, 「タマキ」? Rikaichanで読み方を[確認します]. たぶん[Rikaichanで「運」を調べるか「戦闘」を調べるか不明].		
472				うん。	
473		Umm, ok, tu [題のことをいう] je star karji noter. Ne, ne ni 戦闘 [日本語で発話する]. saj se uporablja to. Ja, 戦闘美少女の精神 [日本語で発話する]? Ne, to ni, ne vem. A je? 精神分析 [日本語で発話する] [おそろ[Rikaichanで読み方を確認する].	うーん, はい, ここ[題のことをいう]は旧字体です. いいえ, そうではないです. 「戦闘」これは使われるでしょう. はい, 「戦闘美少女の精神」? いいえ, これは, 分かりません. 「読み方」[日本語で発話する] [おそろ[Rikaichanで読み方を確認する].		
474				うん, 最初に出てくるこの4つの漢字を確認しますか。	
475		Ja, tukaj, tukaj za določene, umm, ustajene faze.	はい, ここ, ここは, 固定の, うーん, フレーズの。		
476				うん。	
477		Umm, pač, Rikaichan skupaj pokaže, ne [おそろ熟語も表示するという意味].	うーん, まあ, Rikaichanが一纏に表示してくれませんか [おそろ熟語も表示するという意味].		
478				うん。	
479		V tem primeru vse štiri knjige [表示されたので], se pravi 精神分析 [日本語で発話する].	この場合は, 4つの漢字とも[表示されたので], つまり「精神分析」です。		
480				うん。	
481		Čeprav mene je zanimalo samo za prva dva [の漢字], kako se dejansko prebmeta.	私が知りたかった読み方は, 最初の2つの漢字]だけですが。		
482				うん。	
483		Umm, 2000年をはじめとするマンガ [日本語で発話する]. umm, 批評 [日本語で発話する]. umm, 研究を中心に行われた [日本語で発話する]. Mm, tukaj piše o prvih oziroma preteklih raziskavah glede delice, ki se bojujejo, umm, in navaja Sato Minako in, kaj je že bilo to [Rikaichanで「紅一点論」を再確認する]. 紅一点論 [日本語で発話する]. 2 Rikaichan.	うーん, 「2000年をはじめとするマンガ」, うーん, 「批評」, うーん, 「研究を中心に行われた」, うーん, ここは最初の, 戦う少女の先行研究について書いてあり, 前巻美少女と, 何でしたか[Rikaichanで検索します] [Rikaichanで「紅一点論」を再確認する]. 「紅一点論」を述べています。		
484				うん。	
485		Umm, umm, dan prevod je, da gre v bistvu, kaj, za, umm, teorijo.	うーん, うーん, 翻訳は, 要するに, 何というか, うーん, 理論です。		
486				英語訳はThe lone womanと書かれていますね。	
487		The lone woman in a group [「紅一点論」が「紅一点」の英語訳]. Potem predvidevam, da je to teorija same, osamljene ženske, same ženske?	「The lone woman in a group」[「紅一点論」が「紅一点」の英語訳]. つまり, これは独り, 独りぼっちな女, 独りの女の理論でしょうか?		
488				うん。	
489		Pač, če bi bil naslov toliko bolj pomemben, bi se sprevila tudi potem gledati, kaj dejansko [著者] mislim, boljše definicijo tega [定義と言っているが意味のこと], kar je v naslovu. Potem naprej zgod, umm, 少女たち, たちの [日本語で発話する]. umm, 戦歴 [日本語で発話する].	まあ, タイトルがそこまで重要でしたら, どういう「意味」か, まあ, 要に聞いてタイトルを定義してと言っているが意味のことも調べますけれど, そして, 続いて歴史, うーん, 「少女たち, たちの」, うーん, 「戦歴」。		
490				うん。	
491		Se pravi zgodovina, vojaška zgodovina, umm, delice. Umm, potem od umm, Murase Hiromi Feminizem in subkultura. Preverjam [日本語で発話する] [Rikaichanで「批評」を検索する]. Umm, 批評宣言 [日本語で発話する].	つまり歴史, 少女たちの, うーん, 戦歴です. うーん, そのあとは, うーん, 村瀬ひろみのフェミニズムサブカルチャーです. 「批評」を確認しています [Rikaichanで「批評」を検索する]. うーん, 「批評宣言」。		
492				うん。	
493		Kako je to v slovenščini [スロベニアでどのように表現できるかという意味].	スロベニア語でどうでしょうか [スロベニアでどのように表現できるかという意味].		
494				[笑う.]	
495		Malo težko, pač. Ta review ni pregled v slovenščini, kako bi temu sploh rekli [英語のreviewに該当するスロベニア語が思い当たらない]. Criticism, kriti, kritika, umm [おそろ[Rikaichanで「宣言」を検索する]. announcement [英語で発話する]. ni mi všeč [笑う] [「批評」のスロベニア語訳に納得はしていないが, そのまま次の「宣言」のスロベニア語訳に移る].	まあ, 少し難しいです. この批評 [reviewと英語訳で言う]は, スロベニア語の検討 [という意味]ではないです [英語のreviewに該当するスロベニア語が思い当たらない]. 何と言えはいいでしょう. 批評 [criticismと英語訳を言う]. 批評, うーん [おそろ[Rikaichanで「宣言」を検索する]. 「Announcement」 [英語で発話する]. 気に入らない [笑う] [「批評」のスロベニア語訳に納得はしていないが, そのまま次の「宣言」のスロベニア語訳に移る].		
496				うん。	
497		Umm, declaration, proclamation [英語で発話する].	うーん, 「declaration, proclamation」 [英語で発話する].		
498				今は宣言を確認して [聞き取り不能.].	
499		Ja, preverjam. Gledam prevode, no. In v angleščini [宣言の意味は] razumem, ne znam pa spraviti v kelo slovenščino. Kaj bi temu rekli, umm, mm, declaration, announcement [英語で発話する] [6秒間無音]. Tora [笑う].	はい, 確認しています. まあ, 翻訳をえています. 英語では [宣言の意味は] 分かりますが, きれいなスロベニア語訳がありません. 何を言えはいいでしょうか. うーん, うーん, 「declaration, proclamation」 [英語で発話する] [6秒間無音]. つまり [笑う].		
500				[笑う.]	
501		Ker je zadeva tako pomembna, no, jaz potem tukaj, kar pač razlagam, grem umm, ponovdi na umm, brez is [少し聞き取り不能] [おそろ日本語版GoogleウェブサイトのURLを入力していたら間違えてしまった]. umm, Amabis si prevajanje [英語からスロベニア語に翻訳するウェブサイト].	これは大事ですから, まあ, この場合私はここで, 説明していることを, うーん, 普段, うーん, is [おそろ日本語版GoogleウェブサイトのURLを入力していたら間違えてしまった]. うーん, Amabis si [英語からスロベニア語に翻訳するウェブサイト]の翻訳を利用します。		
502				うん。	

503		To je slovenska stran [Amebisai] いくつかの「宣言」の英語訳の原語を入りてスロベニア語訳を添える」 za prevajanje angleščini, umm, aja, declaration deklaracija, ne. Potem se ponvdi, ko to stran vidim, spomnim kakšne, umm, umm, umm, primerne slovenske ustreznice, umm, ampak večkrat si pomagam potem tudi s tem [Amebisai], sploh če me, če hočem še kakšen, umm, dodaten prevod debiti zraven, kakšno variacijo in podobno. Se pravi, tukaj imaš potem še označbe, izpoved, razglasitev razglasitev recimo. Ali se tudi ni. Deklaracija. Deklaracija mogoče, ker gre za akademski članek [奇矯な記事], predvidevam, ali pa neko [笑う] tako knjigo. Se pravi, samo ker gre za kritiko in deklaracijo skupaj, to je malo težko spet [笑う]. Umm, kri, kritična deklaracija? Tam neke?	これは、英語からスロベニア語に翻訳するためのウェブサイトで [Amebisai] いくつかの「宣言」の英語訳の原語を入れて、スロベニア語訳を添える。うーん、ああ、「declaration」、宣言 [スロベニア語訳を言う。] 普段はこのサイトを定例として、何らかの、うーん、うーん、スロベニア語の適切な訳語を思い出します。ですが、うーん、特に、うーん、他の (ハ) エピソードなど補足の翻訳が必要なときには、これ [Amebisai] をよく使います。ここにマーク [おそれなくそのウェブサイトで検索できるオプション] などもある。宣言 [奇矯な記事] は、学術論文かそのような [笑う]。本だと思いつつ、宣言がもしもありません。つまり、ただ、これは、批評と宣言が併起していますから、まあ、難しいです [笑う]。うーん、批評的宣言? そんな感じですかね。		
504				うん。	
505		Prevajanje naslovov je težko [笑う]	タイトルの翻訳は難しいです [笑う]		
506				はい、とても難しいですね。	
507		Ja, umm, potem naprej je, umm, Sato, kaj smo že rekli, Takeshi, meni se zdi, ja, [Rikaichen で「環」の読み方を確認する] Ne, 環, 環 [日本語で発話する]	はい、そして、続いてまずは、うーん、簡潔、何でしたっけ、タケシ [環のこと。] だったと思います。はい、[Rikaichen で「環」の読み方を確認する] といえ、「環、環」です。		
508				うん。	
509		Sem preverila, spet. Umm, gre pa za umm, tale š, せん, [精神], umm, preveden spet, kaj je bilo zdaj zapisano [Rikaichen で「精神分析」を再確認する]	また確認しました。うーん、これは、うーん、この [精神]。うーん、また書かれていることを確認しています [Rikaichen で「精神分析」を再確認する]。		
510				精神分析、うん。	
511		Ja, v angleščini, umm, se pravi, psihoanaliza, Č akajte, 戦闘美少女 [日本語で発話する], umm, kaj je že. Psihoanaliza lepih deklet, ki se bojujejo, samo to ni ravno ustrezno v tem primeru, ker je 戦闘 [日本語で発話する] in je za boj.	はい、英語では、うーん、つまり、精神分析です。ちょっと待ってください、「戦闘美少女」、うーん、何でしたか、戦闘美少女の精神分析ですが、「戦闘」は戦いでですから、適切ではありません。		
512				うん。	
513		Bojujočih se, bojujočih se deklet, ne vem [笑う]	戦闘、戦闘している少女、分かりません [笑う]		
514				[笑う]	
515	それまでほとんどメディア分析の対象とされてこなかった少女マンガを批評の対象としたという点で、彼らの功績は大きい。	Ne bom preveč komplicirala. Umm, to, umm, pač naprej piše, da, umm, To so bile v bistvu prve, umm, tukaj, 批評 [日本語で発話する] je, oha, se pravi, se pravi, umm, prve kritične raziskave, umm, mang, ki so v bistvu to temo imela za center svoje raziskave. Umm, それまでは本当 [「ほとんど」は狭義で用いられる] です、あ、ほん、どう、それまで、あ、ほとんど [日本語で発話する] ja [笑う]。ほとんどメディア分析の対象とされて、こされてこなかった少女マンガを批評の対象、対象としたという点で彼らの [日本語で発話する] [Rikaichen で「功績」を検索する], Rikaichen.	あまり複雑に考えないことにします。うーん、これは、うーん、まあ、まずは、うーん、これが要する最初の、うーん、こ、「批評」は、ああ、つまり、つまり、うーん、要するに、このテーマ「戦闘少女」を中心とした、最初の批評的研究について書かれています。うーん、「それまでは本当 [「ほとんど」は狭義で用いられる]」です、あ、ほん、どう「それまで、あ、ほとんど」はい [笑う]。「ほとんど」メディア分析の対象とされて、こされてこなかった少女マンガを批評の対象、対象としたという点で彼らの [Rikaichen で「功績」を検索する], Rikaichen.		
516				うん。	
517		功績は大きい [日本語で発話する]. Umm, glede na to, da se do takrat, umm, umm, ni, ni, ljudje niso ravno ukvarjali s 少女 [日本語で発話する] mangami, je v bistvu njihov prispevek k znanosti velik. Umm, こうして [日本語で発話する].	「功績は大きい」、うーん、それまで、うーん、うーん、人はあまり少女マンガを対象にしていなかったと考えると、彼らの研究への功績は大きいです。うーん、「こうして」。		
518				ああ、これですね。	
519		Ja, pač, povzetek stavka.	はい、まあ、文の要約です。		
520				はい、はい。	
521		Moj povzetek stavka, ja.	私の文の要約、はい。		
522				では、そろそろ終わりますようか。	
523		Umm, tudi lahko, ja.	うーん、構いません、はい。		
524				ここからはタイトルばかりで。	
525		Aja, ja, vidim.	ああ、はい、そうですね。		
526				第2章では。	
527		Ja, v bistvu naslove, ki jih, umm,	はい、つまりタイトルを、うーん。		
528				そうですね。時間ももう、50分ほどは経っていますから。	
529		Možno, ja. Ne vem, saj mora pisati.	そうかもしれませんが、分かりません。表示されているはずですが。		
530				うん。	
531		Ja [笑う]. Lahko.	はい [笑う]、いいです。		
532				はい、ありがとうございます。	
533		Ni za kaj, upam da bo pomagalo.	とんでもないです。役に立つと嬉しいです。		